



# 確認ドリル（筋）

- ① 横紋があり、不随意筋であるのは**（骨格筋・平滑筋・心筋）**である。
- ② 横紋があり、随意筋であるのは**（骨格筋・平滑筋・心筋）**である。
- ③ 横紋がなく、不随意筋であるのは**（骨格筋・平滑筋・心筋）**である。
- ④ 随意筋は**（体性神経系・末梢神経系・自律神経系）**による支配をうける。
- ⑤ 筋収縮時に**（糖・熱・尿）**が産生される。
- ⑥ 筋収縮にとくに必要な電解質は**（カルシウム・マグネシウム・リン）**である。
- ⑦ 筋運動では作動筋と反対の動きをする**（協力筋・赤筋・拮抗筋）**がある。
- ⑧ 筋は多くの場合、骨に付着する部位に**（腱・靭帯・関節）**がみられる。
- ⑨ 筋細胞の中にはカルシウムの入った**（筋小胞体・弾性線維・筋原線維）**がある。
- ⑩ アクチン、トロポニン、トロポミオシンからなる細胞骨格を**（ミオシンフィラメント・アクチンフィラメント・サルコメア）**という。
- ⑪ 運動の命令は**（大脳・中脳・小脳）**の体性運動野からでている。
- ⑫ 体性運動の命令は延髄の**（黒質・前根・錐体）**を通る。
- ⑬ 運動の命令を伝える神経伝達物質は**（ドパミン・アドレナリン・アセチルコリン）**である。
- ⑭ 神経伝達物質を受け取る細胞には**（チャネル・受容体・ポンプ）**がある。
- ⑮ 神経や筋を伝わる電気刺激を**（活動電位・脱分極・ニューロン）**という。
- ⑯ 血液中のカルシウムイオンは**（血液凝固・血液溶解・血球産生）**にかかわる。
- ⑰ 細胞が興奮を起こすとき、**（ナトリウム・カリウム・カルシウム）**が細胞内に流入する。
- ⑱ 細胞が電氣的に興奮することを**（過分極・再分極・脱分極）**という。
- ⑲ 筋細胞が興奮すると筋小胞体から**（ナトリウム・カリウム・カルシウム）**が放出される。
- ⑳ 筋収縮などで利用される生体エネルギーを**（AMP・ADP・ATP）**という。





# 確認ドリル（筋）

- ① 神経筋接合部にある筋細胞膜を**（運動終板・筋紡錘・ゴルジ臓器）**という。
- ② 安静時の呼吸で吸気時に収縮するのは**（横隔膜・内肋間筋・胸鎖乳突筋）**である。
- ③ 安静時の呼吸で呼気に関わるのは肺の**（伸縮性・柔軟性・弾性）**による収縮力である。
- ④ 物を嘔むときに収縮する筋に**（口輪筋・舌筋・側頭筋）**がある。
- ⑤ 咀嚼筋は**（三叉神経・顔面神経・舌咽神経）**による支配をうける。
- ⑥ 上肢を前方から挙げる運動を**（屈曲・伸展・外転）**という。
- ⑦ 上肢を側方から挙げる運動を**（屈曲・伸展・外転）**という。
- ⑧ 肘を体幹につけて前ならえの姿勢から手を身体に近づける運動は**（肘・肩・手首）**の運動である。
- ⑨ 肘を体幹につけて前ならえの姿勢から手掌を下に向ける運動は**（肘・肩・手首）**の運動である。
- ⑩ 曲げた肘関節を伸ばす運動は**（屈曲・伸展・回内）**である。
- ⑪ 下肢を前方から挙げる運動を**（屈曲・伸展・外転）**という。
- ⑫ 下肢を側方から挙げる運動を**（屈曲・伸展・外転）**という。
- ⑬ 膝関節を曲げる運動を**（屈曲・伸展・外転）**という。
- ⑭ 足先をまっすぐに伸ばす運動を**（背屈・伸展・底屈）**という。
- ⑮ 地面につけた足で親指側を挙げる運動を**（内反・内転・回内）**という。
- ⑯ 筋の長さが変わらない筋収縮を**（求心性収縮・遠心性収縮・等尺性収縮）**という。
- ⑰ 筋をゆっくりと短縮させる筋収縮を**（求心性収縮・遠心性収縮・等尺性収縮）**という。
- ⑱ 筋をゆっくりと伸長させる筋収縮を**（求心性収縮・遠心性収縮・等尺性収縮）**という。
- ⑲ 座位を保持するような運動は**（求心性収縮・遠心性収縮・等尺性収縮）**である。
- ⑳ 等張性収縮では**（軟骨・靭帯・関節）**の運動がみられる。

